このコースでは何を学ぶ？

「DHCヒアリングステーションVOICE 55」は、「役に立つ使える英語」と日本人の不得意とする「英語の聞き取りのコツ」の習得を目的とします。文字を見れば少しも難しくないのに、それを聞くとわからない。たった一言の簡単な表現が出てこない。そんな思いはもうしたくありません。CDを聞きながら生きた英語の表現を覚え、英語を聞き取れる耳を作り上げましょう。

強化ポイント（レッスン 1～10）

1．実感！ストーリー（CD頭出し番号1）

ここでは、テキストに載っているイラストを参考にしながら会話の内容を頭にイメージしてみましょう。わからない単語があっても最初はテキストの文字は見ないで、イラストから推測してください。会話のイメージがはっきりとつかめるようになりましょう。

2．重要表現 10 × 10（CD頭出し番号2-19, 23-30）

英語圏で日常よく使われる100の表現とその使い方（目的・状況別）をネイティブスピーカー（英語を母国語とする人々）の会話から学びます。毎日の生活の中で誰にでも起こりそうな様々な場面を通し、100の表現を習得します。タイトルの「10×10（テン・バイ・テン）」は、1レッスンで10の表現を、10レッスンを通して合計「100」覚えることを表します。

3．聞き取りポイント 1 TO 10（CD頭出し番号21）

英語を聞き取るときに一番困るのは、1語1語がはっきりと聞こえず、いくつかの単語がまとまって聞こえることです。本講座では、つながる音、聞き取りにくい音、変化する音についてわかりやすく解説します。各レッスンで1ポイントずつ音の変化について学習します。レッスン10までに10のポイントをマスターします。

これからの６カ月間を楽しんでいただくために

主な登場人物を紹介します！

モリス一家とその友人たち The Morrises and their friends に登場する人々です。

Dennis Morris（デニス・モリス）

12歳の明るくて活発な男の子。野球が大好きでいつも遊ぶことに夢中ですが、最近は犬のAlley（アリー）のしつけに忙しいようです。

George Morris（ジョージ・モリス：デニスのお父さん）

建設会社に勤める開発部の部長。会社では部下からの信頼も厚く、秘書にも優しいすてきな上司です。

Barbara Morris（バーバラ・モリス：デニスのお母さん）

何でもこなしてしまう威勢のいいお母さん。デニスもかなわないバーバラですが、友人のジャネットにはちょっと振り回されることもあるようです。

Jensen Hayman（ジェンスン・ヘイマン）

ジョージと同じ部の課長です。ジョージとは古くからの友人で同期入社。でも、ちょっと出世が遅れているよう。いつも何かに悩まされて、文句ばかり言っています。

Nancy Steinbech（ナンシー・スタインベック）

ジョージの秘書。仕事をてきぱきとこなし、上司のスケジュール管理もバッチリ。コンピュータの知識にはジョージも顔負けです。

ドラマ（CD頭出し番号22）

上記の人物が活躍するダイアログとは別に、各レッスンの後半には、毎回異なる個性たっぷりのキャラクターが登場。アメリカの文化や社会をドラマ形式で紹介します。レッスン前半のダイアログとは気分を変えて楽しんでください。

コースを修了するまでに

レッスン内容

本コースは全12レッスンで構成されています。

基本編　レッスン１～10

基本レッスンではダイアログ６話、ドラマ１話をとおし、重要表現 10 × 10 、聞き取りポイント１TO 10 を学習します。

応用編　レッスン11～12

レッスン11・12では、モリス一家の海外旅行の行程を追いながら、基本編の復習をします。基本編とは異なる場面で使われている表現にもチャレンジ。旅行には欠かせない表現、知っておくと便利な情報も入っています。旅行気分で最後のレッスンを楽しんでください。

		家庭（ダイアログ1-3） 30場面	会社（ダイアログ4-6） 30場面	ドラマ 10場面
1カ月	レッスン１ 挨拶	●朝、学校へ！ ●先生は休み、でも・・・ ●ママは庭仕事	●今日も会社が始まる ●午後の予定 ●体調はどう？	●婚約パーティー
	レッスン２ 指示	●遊びに行こう ●子犬をしつける ●ちょっと相談	●仕事の悩み ●その会社はどこに？ ●報告書はこう書く	●妻の旅行
2カ月	レッスン３ 了承	●学校帰りに ●パソコン欲しい ●ママ、本を探す	●アフターファイブ ●ミーティングの予定変更 ●車を貸して	●結婚20周年記念日
	レッスン４ 感謝	●道を教えて ●ママのお手伝い ●夫婦でお出かけ	●オフィスを訪ねて ●医者を紹介 ●残業はほどほどに	●バースデープレゼント
3カ月	レッスン５ 否定	●わがまま言わないの ●すごい車 ●社会科見学	●エレベーター故障中 ●人気バレエのチケット ●設計図を検討	●就職面接
	レッスン６ 感情	●ごほうび買って ●こんなに散らかして！ ●おあずけができた	●昼食の予約 ●道路の建設再開 ●ファイルが消えた	●仕事の虫
4カ月	レッスン７ 依頼	●課題発表の準備 ●お願いがあるの ●ママが修理中	●仕事は順調？ ●オフィスの模様替え ●メールボーイは来た？	●喫茶店で
	レッスン８ 電話	●宿題どこだっけ ●かけ直してね ●急いでるのよ	●約束をキャンセル ●FAXが送れない ●留守中の対応	●派遣サービス
5カ月	レッスン９ あいづち	●試合見に来てよ ●赤ちゃん誕生 ●これは何？	●やっと週末だ！ ●話があるって ●上司にはうんざり	●夫の行動
	レッスン10 切出し・まとめ	●今度は来てね ●夫婦ゲンカは・・・ ●旅行の計画	●アシスタント募集 ●駐車違反 ●本当の見積りは？	●同窓会
6カ月	レッスン11 家族旅行−1	●搭　乗 ●ドリンクサービス ●機長のアナウンス ●空港到着 ●入国手続き ●タクシーでホテルへ ●チェックイン　7場面	レッスン12 家族旅行−2	●道を尋ねる ●案内所で ●バスでロンドン巡り ●観光を終えて ●レストランで食事 ●明日の予定 ●チェックアウト　7場面

CD が届いた！でも、どうやって聞く？

レッスン１～10の１レッスンの内容は、１枚のCD に次のように収録されています。

実感！ストーリー
　ダイアログ１～６をナチュラルスピードで聞く（CD頭出し番号1）
重要表現 10 × 10
　重要表現を学びダイアログをスローとナチュラルスピードで聞く（CD頭出し番号2-19）
　ダイアログ１～６をスローとナチュラルスピードで聞く（CD頭出し番号20）
聞き取りポイント1 TO 10
　解説の後にダイアログ１～６をナチュラルスピードで聞く（CD頭出し番号21）
実感！ストーリー
　ドラマ前半、後半をナチュラルスピードで聞く（CD頭出し番号22）
重要表現 10 × 10
　ドラマを前半と後半に分け、スローとナチュラルスピードで聞く（CD頭出し番号23-30）

このレッスンCD １枚を２週間にわたって聞き続けます。１レッスンはこれで終了です。
次に同じように新しいレッスンCD を２週間聞きます。
以上のように２枚のレッスンCD をのべ４週間で終了したら、偶数レッスンCD の最後に録音されているマンスリークイズを聞きます（P. 12～13 のマンスリークイズとは？参照）。

CD 頭出し番号 について

本講座は CDを中心にテキストを適宜利用しながら学習を進めていきます。基本的にCD 頭出し番号を操作しなくても、繰り返しナチュラルスピードとスロースピードの収録が効果的に聞けるように構成されています。しかし、さらに何度も同じ箇所を聞いてみたいときなど、受講生のみなさんの目的に応じてCD 頭出し番号を利用してください。テキストでは次の２種類の CD 頭出し番号のマークを使用しています。

ダイアログがスロースピードで収録されているCD 頭出し番号を示します。
例では CD 頭出し番号３にダイアログ１がスロースピードで収録されています。

（例）

ダイアログ１ ③ ④

See you. 08

ダイアログがナチュラルスピードで、または重要表現10×10、聞き取りポイント1 TO 10の解説が収録されているCD 頭出し番号を示します。例では CD 頭出し番号４にダイアログ１がナチュラルスピードで収録されています。

□（四角）内の番号は重要表現10×10の通し番号です。

注意 CD の操作は各機種によって異なりますので、お手持ちのプレーヤの取扱説明書を読んでから操作するようにしてください。